

横浜商科大学 紀要

横浜商科大学開学五十周年記念号

第十一卷

- | | |
|--|----------------------------|
| 巻頭言 | 小林 雅人 |
| 論文 | |
| ABL (Asset-Based Lending) の研究
—不動産担保融資からの脱皮— | 可児 滋 (1) |
| 教育的人間関係の本質構造の解明
—西田幾多郎の「行為的直観」と「私と汝」の概念をたよりに— | 高橋 浩 (61) |
| ニューカレドニアの「文化遺産」の創造
—カナク文化展示を事例に— | 中村 純子 (77) |
| 「ツール」としての英語, 「ルーツ」としてのアラビア語の狭間で
—アラブ首長国連邦における大学生のアイデンティティの行方— | 木村 有里 (89) |
| 誤解や外的要因に基づく言われのない非難に対する言語行動
—ビジネス場面における社会人・学生の比較から— | 末田 美香子 (105) |
| 使用言語が話し手に及ぼす影響
—日本語以外を母語とする複数言語話者への聞き取り調査から— | 東本 裕子 (117) |
| 新自由主義はどのようにして経済社会を支配するにいったったか (1958-99年)
—フランスの事例— | 権上 康男 (135) |
| 利益計算の基点としての純利益概念 | 吉田 武史 (165) |
| 論説 | |
| 不完全性定理をよりどころにした人工知能の発展可能性に関する考察 | 高橋 信行 (183) |
| 研究ノート | |
| Gerontology (老年学) としてのエンディングノートの普及
—大学発超高齢化社会への対応— | 小林二三夫、伊藤裕久、野口幸子、横山千尋 (203) |
| 横浜市内における観光での自転車活用と観光コースに関する一考察
—横浜市内での自転車モニターツアー実施事例から— | 秋山 友志 (225) |